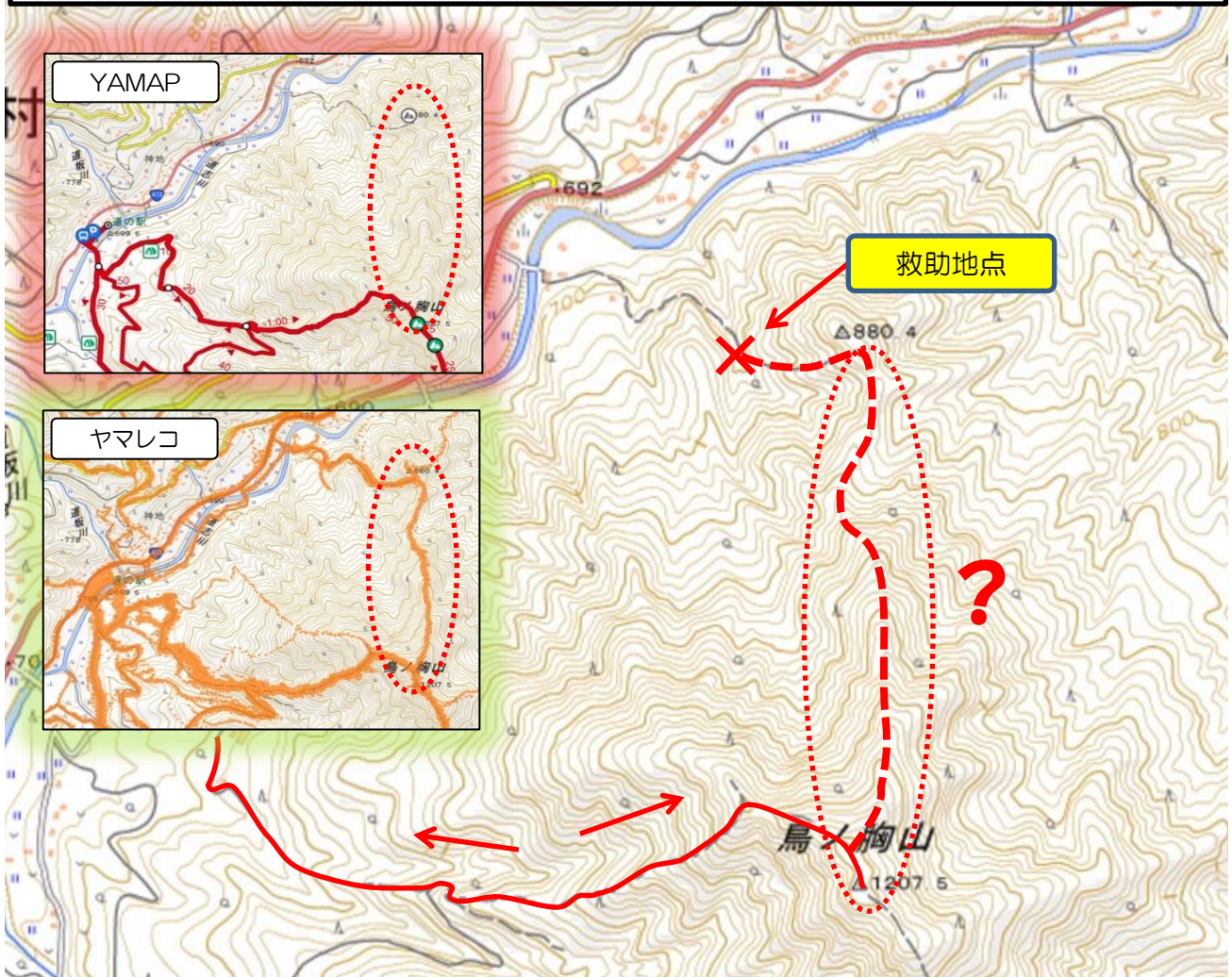


鳥ノ胸山遭難(2021年12月)

登山者3人が下山中に道に迷い、暗くなって自力下山できなくなったと、110番通報し、山岳救助隊が救助した。



解説

鳥ノ胸山は、山梨県道志村から登れる手ごろな山。国道413号の「道の駅どうし」から登り2時間弱、下り1時間30分ほどで往復できるが、この3人は正午ごろ登り始め、出発が遅かった。道に迷ったときに、出発が遅かったため時間切れとなり、救助要請した。(HP参照)

鳥ノ胸山を道の駅から往復するつもりが、頂上から下山後すぐの尾根分岐で北尾根に迷い込む。地図を見ると、道の駅には尾根分岐を西側方面へ曲がるイメージ。一方、道迷いをした尾根はそのまま北側に進むイメージになっている。恐らく、YAMAPでは道で表現されておらず、ヤマレコでは人の通った足跡があるため、迷った道はバリエーションルートで不鮮明な所もあったのではないだろうか？

また、①ヘッドランプは持っていないと思われること、②来た道とは違っていること、③880.4mの三角点から道が麓までつながっているが、辺りが暗くなり、不安になったため救助を求めたものと思われる。

山を登るすべての方に地図アプリの存在を知っていただき、必要装備を持って登山をすることの大切さを伝え、道迷い遭難が1件でも減少することを願っている。